

都市計画道路 御陵 山崎線 (A工区) (向日市寺戸町北前田他)

都市計画道路 御陵 山崎線 (B工区) (向日市寺戸町西ノ段他)

都市計画道路 御陵 山崎線 (C工区) (向日市寺戸町中垣内他)

都市計画道路御陵山崎線は、京都市西京区から大山崎町に至る乙訓地域を縦貫する幹線道路です。

本事業箇所は、第1次緊急輸送道路に指定されているとともに、近隣の小学校等の通学路となっていますが、自動車交通量が多く、道路及び歩道の幅員が狭隘で危険な状況となっています。

このため、本事業により道路拡幅に併せて無電柱化（電線共同溝）を実施することにより、自動車及び歩行者の安全性を確保するとともに、災害時における避難路・輸送路を確保します。

令和7年度は、A工区は道路築造工事、B工区は用地補償及び道路築造工事、C工区は測量調査及び道路設計を実施します。

◎事業概要

箇所	全体計画	R 6 までの実績	R 7 計画
A工区	事業期間：R元～ 事業延長：213m 総事業費：約 1,440 百万円	事業概要：用地補償、 道路築造 事業費：1,060 百万円	事業概要：道路築造 事業費：111 百万円
B工区	事業期間：R3～ 事業延長：187m 総事業費：約 445 百万円	事業概要：道路設計 用地補償 事業費：41 百万円	事業概要：用地補償 道路築造 事業費：50 百万円
C工区	事業期間：R7～ 事業延長：510m 総事業費：約 4,800 百万円	—	事業概要：測量調査 道路設計 事業費：30 百万円

◎事業効果

- 幅員を確保し、交通の円滑化を図ります。
- 安全な通学路を確保し、利用者の安全性向上を図ります。
- 災害時における避難路・輸送路を確保します。

現在の状況 (A工区)



↓ 至 国道9号

位置図



(B工区)



↓ 至 大山崎町

(C工区)



↓ 至 国道9号

標準横断面図

A工区 (W=15m)

3.50m	15.00m	3.50m
0.50m	8.00m	0.50m
3.00m	1.00m	3.00m
自歩道	車線	自歩道

B工区 (W=15m)

2.50m	15.00m	2.50m
0.50m	10.00m	0.50m
3.00m	3.00m	3.00m
歩道	車道	歩道

C工区 (W=15m)

3000	500	3000	15000	3000	500	3000
自歩道	路肩	車線	中央帯	車線	路肩	自歩道

位置図



都市計画道路 御陵山崎線（第3工区、第4工区）（長岡京市神足）

都市計画道路御陵山崎線は、京都市西京区から大山崎町に至る乙訓地域を縦貫する幹線道路です。

本事業箇所は、第1次緊急輸送道路に指定されているとともに、近隣の小学校等の通学路となっていますが、自動車交通量が多く、道路及び歩道の幅員が狭隘で危険な状況となっています。

このため、本事業により道路拡幅に併せて無電柱化（電線共同溝）を実施することにより、自動車及び歩行者の安全性を確保するとともに、災害時における避難路・輸送路を確保します。

令和7年度は、第3工区は道路築造工事、第4工区は物件調査及び道路設計を実施します。

◎事業概要

箇所	全体計画	R 6 までの実績	R 7 計画
第3工区	事業期間：H27～	事業概要：用地補償 道路築造	事業概要：道路築造
	事業延長：241m	事業費：2,533 百万円	事業費：170 百万円
	総事業費：約 2,790 百万円		
第4工区	事業区間：R6～	事業概要：物件調査、 道路設計	事業概要：物件調査 道路設計
	事業延長：80m	事業費：52 百万円	事業費：52 百万円
	総事業費：約 605 百万円		

◎事業効果

- 幅員を確保し、交通の円滑化を図ります。
- 安全な通学路を確保し、利用者の安全性向上を図ります。
- 災害時における避難路・輸送路を確保します。

現在の状況（第3工区）



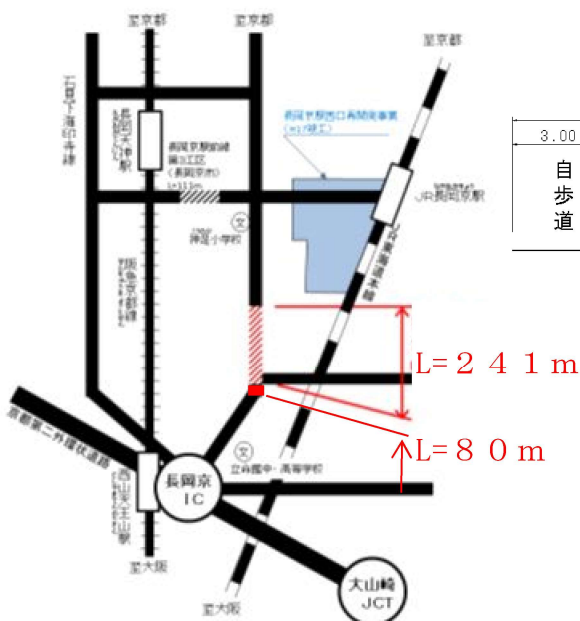
（第4工区）



位置図



位置図



標準横断面図

第3、4工区（W=22m）

22.00								
3.00	0.50	3.25	3.25	2.00	3.25	3.25	0.50	3.00
自歩道	路肩	車道	車道	中央帯	車道	車道	路肩	自歩道